

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス羽ばたき				公表日 令和7年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・スペースに余裕がある	・利用人数が多い日は宿題するスペースが狭いと感じる
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・職員数を増員している	・継続して実施
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・全館バリアフリーの為分かりやすい	・継続して実施
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・毎日の清掃を隅々まで行っている	・継続して実施
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・分割可能な空間を設けている	・継続して実施
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・振り返りに参加できない時は連絡ノートで確認している	・行事の際の打ち合わせや振り返りが不十分と感じる
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・職員と評価について共有し、会議などで業務改善に繋げている	・継続して実施
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎月の会議で意見交換を行っている	・継続して実施
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	・現在、実施していない	・今後、検討していく
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・各種資料を取り寄せ、法人内で講師により研修を行っている	・継続して実施
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・職員の意見を幅広く聞き実施している	・継続して実施
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・面談や電話などにて度々連絡を取り情報を聞き取っている	・継続して実施
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員間で共有し検討している	・継続して実施
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・支援計画を職員間で共有している	・継続して実施
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・脳バランサー・キッズ等の活用により、個人の詳細なファイルを作成し支援を行っている	・対象者別の全体会議を通じ、その都度支援を見直す
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・支援内容を分析し分かりやすく表現している	・引き続き職員間で内容の理解を深め、支援に活かしていく
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・イベント等を考えて季節の雰囲気を感じてもらえるように実施している	・継続して実施
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・固定化しないよう活動プログラムを行っている	・時間配分に考慮が必要
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・一人一人に合った個別・集団活動を計画	・継続して実施

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・支援する前には一人一人に合わせた支援内容を共有している	・打合せ時間の配分を考慮する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・送迎や職員の勤務体制により、その日に出来ない事もあるが次の日の支援前までは振り返りを行っている ・個々に記載した問題点を話し合っている	・概ね出来ているが、更に時間を割いていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・気になる事やいつもと変わった出来事は細かく記録をし共有している ・ケース記録や業務日報等を記載し確認している	・継続して実施
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・サービス計画の見直しを必要性に応じて行っている	・継続して実施
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		・職員間で話し合い支援を行っている	・継続して実施
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・職員だけが決めるのではなく子どもたちにも決めてもらえるよう案を出してもらったり、子ども間で話をし決めてもらう	・継続して実施
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・管理者、児童発達支援管理責任者が参画している	・継続して実施
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・保育、教育等の関係機関と連携している	・今後更に範囲を拡大していく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・送迎時及び電話、訪問等にて行っている	・継続して実施
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・送迎時及び電話、訪問等にて行っている	・継続して実施
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2	・対象者が居ない	・対象者が居ない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		・児童発達支援センターの職員に見学等を促し、その際助言等を求める	・継続して実施
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・現在、行っていない	・今後、検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2		・管理者が積極的に参加している	・継続して実施
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時や迎えに来る保護者様と話せる時は情報共有を行う。 ・情報や課題に対して共通理解を持っている	・継続して実施
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・保護者参観等の機会を設けている	・より回数を増やしたい
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時以外にもその都度説明を行っている	・継続して実施
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・見学、体験を通じて、お子様や保護者様の意向を事前に聞く事により、内容深い作成に務めている	・継続して実施
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・丁寧に説明する事により、理解を深めてもらっている	・継続して実施
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・電話やメールにてアポを取り、困り事を聞き適切に助言を行っている	・継続して実施
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	・現在そのような会を開催していないが、子育てサポートの参観の場で交流してもらっている	・今後実施していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・相談や申し入れがあった場合には直ぐに対応している	・継続して実施
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・行事予定や連絡事項の情報を保護者様に対して渡している	・今後はSNSの活用を増やしていく

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	・職員間で個人情報について意識を高め、十分に留意している	・継続して実施
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・職員間で考察し実践している	・継続して実施
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・案はあるが、現在はまだ実行出来ていない	・今後実施していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・定期的に職員間で共有し実施している	・もう少し研修内容を成熟させていきたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・BCP策定し、火災等の避難訓練を行っている	・今後、様々な有事を想定して訓練を行っていきたい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・保護者様の方への十分な聞き取りをしている	・継続して実施
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・保護者様の方への十分な聞き取りをしている	・今後、保護者様より医師の指示書の開示を求める
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・安全計画に基づき支援を行っている	・継続して実施
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・連絡帳等にて周知している	・継続して実施
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・職員が管理者にその都度報告し記載している	・更に職員間で周知徹底していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修を行い適切に対応している	・継続して実施
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・研修を通じ理解はしているが、現在対象児が居ない	・今後、その場合を想定し対応していく